

建築土木工学科

キーワード

建築計画、建築設計、大規模商業施設、オフィス、個人住宅、集合住宅



教授 / 工学士

五十嵐 啓

Hiroshi Igarashi

主な研究と特徴

「平野純薬本社社屋」

福井市下馬に建つ医薬品販売会社の本社ビルである。計画の初期段階からインテリア提案まで学生が深く関わりながら設計が進められた。最初にオーナーの要求事項や法的諸条件などを教員がヒヤリングし、設計条件として学生に提示、6人の学生が1ヶ月程度で各自の案をまとめ、オーナーにプレゼンテーションを行った。その後も、エントランスホールデザインやWC、ランチルームインテリアなど、定期的なプレゼンテーションを行いながら計画をまとめていった。通常であれば、一般企業の建設プロジェクトに学生が関わるのは、知識や経験の不足から困難であろうが、オーナー側の深い理解と熱意により建物として完成するに至った。実施設計・法的手続き等は、地元の数社の設計事務所の協力を得ながら行なったが、「計画をまとめる」という点では、かなりの部分をオーナーと学生たちのアイデアが主導している。

外観は、セッタバックの手法や透明感のある仕上げを採用し、周辺の住宅に対する圧迫感の軽減に努めている。また、ビル全体にガラスコーティングを行い、セルフクリーニング効果によって、長期にわたる汚れ防止、景観の維持に配慮している。

環境対策としては、ペアガラス使用による断熱性能の向上、吹抜けを利用したオフィス中央部への自然光の導入と自然換気の工夫の他、氷蓄熱冷暖房設備、床吹出し空調、人感センサーによる照明コントロール等の技術を導入し、快適性向上と省エネルギーの両立を目指している。

また、敷地近くに広がる下馬公園の美しい緑を意識して、公園側の道路に沿って広い植栽帯を配置し、敷地内の緑が下馬公園へと繋がるような演出を試みた。日中は駐車場棟のカーテンウォールに緑が映りこみ視覚的に増幅され、夜間は樹木へのライトアップなどによって、敷地前でバスを待つ人や周辺の歩行者にも豊かなアメニティ空間を提供している。

オフィスは、部署間のコミュニケーションの円滑化を重視しワンフロアで計画。その下部のピロティ空間は雨天時の荷卸し積み込みスペースとして利用する計画とした。オーナーからの強い希望のあったガラス張りの外観デザインと西日対策のバッファゾーンとしてエントランスホールにその役割を持たせている。4階には会議室の他、社員食堂・ロッカーハウスなどが配され、オフィスと吹抜けで視覚的につながっている。

西側のオフィス階の屋上をテッキ敷きとし外部空間として積極的に利用可能の計画とした。また、法規上2か所の階段が求められないので、災害時の一時避難場所としても有効である。(受賞:ふくい建築賞2015 一般建築部門最優秀賞・第3回ふるさと福井 景観広告賞)



図1. 全体外観写真



図2. オフィスエリア内観写真



図3. エントランスロビー内観写真

今後の展望

本計画の特筆すべき点は、計画の初期段階からインテリア提案まで学生が深く関わったことである。最初にオーナーの要求事項や法的諸条件などを教員がヒヤリングし、設計条件として学生に提示、6人の学生が1ヶ月程度で各自の案をまとめ、オーナーにプレゼンテーションを行った。

通常であれば、一般企業の建設プロジェクトに学生が関わるのは、知識や経験の不足から困難と考えられている。しかし、学生の自由なアイデアや発想は、計画の初期段階において、コンセプトやオリジナリティを模索する際には大いに力を發揮するものである。また、同時に条件は同じでも、異なった考え方でまとめられた複数の作品を目にできることは、具体的なイメージを整理する手がかりを与えてくれる。

オーナー側の深い理解と熱意が大いに必要ではあるが、不透明な現状においても学生の作品がその突破口を見せてくれることがしばしばである。

本研究室ではこのような手法により、ここで紹介した他にも、個人住宅や医療施設などの複数の実施物件を手掛けてきた。

所属学会

- 一般社団法人 日本建築学会 (2006年～現在まで)
- 一般社団法人 福井県建築士会 (1988年～現在まで)
- 公益社団法人 日本建築家協会 (2008年～現在まで)

主要論文・著書

- 受賞歴
2006年 「親子でまち暮らしを楽しむ家」最優秀賞
- 2010年 「福井の家」設計コンペ 優秀賞
- 2011年 第2回「福井の家」設計コンペ 優秀賞
- 2012年 第3回ふるさと福井 景観広告賞(平野純薬本社ビル)
- 2015年 ふくい建築賞2015 一般建築部門 最優秀賞
(平野純薬本社ビル)